

単位認定インターンシップに行ってきました (File.13)

授業科目名:世界教養プログラム/就業体験
派遣先企業・機関名:株式会社パソナグループ
配属部署:グローバルHR事業部
研修期間:2021年8月23日~2021年9月3日(10日間)
国際社会学部 国際社会学科 東南アジア地域/ビルマ語専攻 2年 沼野 未来



* 株式会社パソナグループとは

「社会の問題点を解決する」という企業理念のもと、パソナグループの仕事は、「人を活かす」こと、人々の心豊かな生活の創造、すなわち「ライフプロデュース」です。「働くを創る」「人生を楽しむ」「人材を育む」「文化を創る」を使命とした人材ソリューションの企業グループです。

 PASONA <https://www.pasonagroup.co.jp/>

■ 参加した理由

自分が理想としてきたものと適合するのかを体験してみたかったので応募しました。これまで自分が将来やりたいことに一直線のような形だったのですが、これをきっかけに視野を広げて、これまで知る機会のなかった職業を体験し、自分への新たな可能性にも出会えるのではないかと思います。

インターンシップに参加するにあたって多くの人と関わることは必要不可欠なので、その機会を使い、外大の生徒や受入先の担当の方だけではなく、他の大学生とも交流をもち、自分の輪の広がりを増やしたかったです。どんなに理解が難しいことでもあきらめずに、より良いものにする、自分のものにして帰ってやる、という強い意志を持って取り組みたいと思い挑戦しました。

■ インターンシップの内容

主な活動としては「アメリカ進出する日本企業のサポート作業」に携わらせていただきました。

1日目にはマナー講座やパソナグループのこと、そして2日目には「ハートフル」という障害者雇用を行っているグループ会社の職業体験や、手話を教えていただきました。2日目の午後から最終日の午前中まではグローバルHR事業部で仕事の体験をさせていただきました。その中では企業様とのアポイントメントや、月1回行われる海外拠点との会議にも参加させていただき、実際に他の企業様のお話を聞かせていただく、そして発言する機会がありました。個人作業としては過去の企業様の社長同士の対談の映像を見させていただいたり、アメリカの州法を読みながらの資料作成や、パソナ・グローバルのソリューションを使いながら社会問題を解決できる提案書を自分で作り、実際に仕事をするときにも行うプロセスを体験しました。

最終日の午後には、パソナで働いていらっしゃる外大の先輩に、会社のことだけではなく大学生活のことも含め、たくさんのお話を聞くことができました。そして最後には2週間やってきたことの総括として、どのようなことをしたか、学んだこと・今後活かしたいことをパワーポイントで作成し発表しました。

インターンシップの内容 ~部署別に分かれる前~



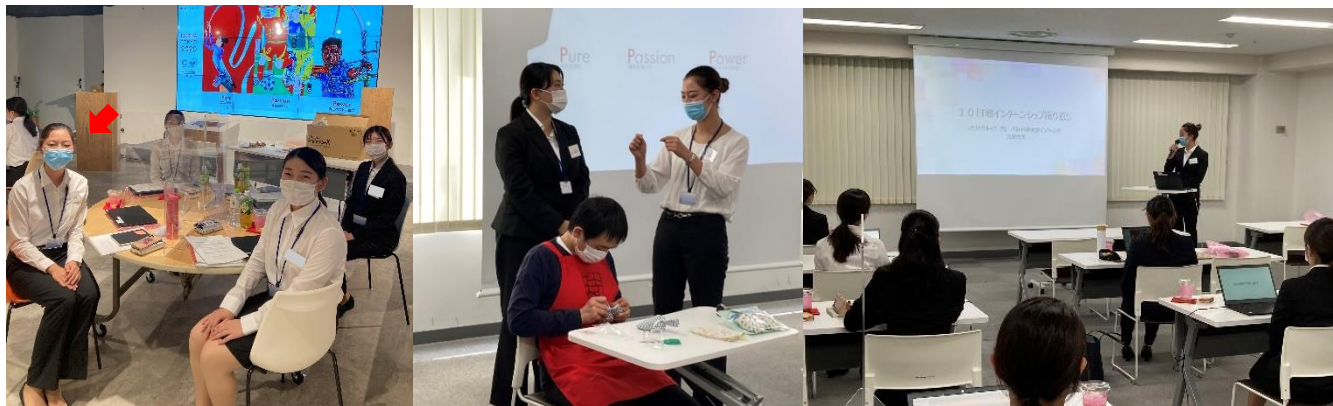
・パソナグループの中でも力を入れられている障害者雇用「ハートフル」
→彼らの才能を活かした職業へつなぐ
マイナスをプラスへ考える

左:手作りのパン
右:手作りのシューキーパー

手話も教えていただきました。

■記憶に残るエピソード

最も困難だったことは、パソナのグローバル部のソリューションを使って提案書を作ることでした。「難民」を題材に人材派遣やコミュニティーの作成などは思いつきましたが、ソリューションを使ってとなると、実在するものなのか、勝手に作ってしまっていないか、などずっと悩んでいました。すでに難民の職業サポートを行っている団体があり、パソナにとって新しいものは何なのかを模索する必要がありました。作っている段階でとにかく何度も確認し、発表を終えた後に、よりよい提案書になる方法や実際に仕事にするとなったときにどのような点に気を付けたほうがいいのかを、担当の方に指摘していただいて乗り越えることができました。



■自分の気づき、学んだこと、これからどう活かす

再認識したこととして、私は人のためになら動けるということです。今回も人のための資料作成は大変でしたが、“サポートになるのであれば”、という思いでやっていました。そして、ソリューションを使って提案書を作るときも、“これで難民の方をサポートする運動の一步目になるのであれば”、という思いでやっていると、“自分自身も頑張ろう”、という気持ちになることができました。自分が苦手としてきた政治・経済の分野は、ニュースを通じて少しでも知っておこうと覚悟を決めました！ どんなことでも少しでもいいから手をのばして知ることが重要だと痛感しました！



■学生への呼びかけ(インターンシップのすすめ)

自分が何をしたいのかということが明確に決まっている人はもちろん、何をしたいのかわからない、仕事って何をすればいいの？ と悩んでいる人にも、ぜひ参加していただきたいです！ 私は前者の立場でありましたが、今回のインターンシップ先でまさかつながるとは思っていなかったところで、自分がやりたいことにつなげることができたり、新しい発見をたくさん見つけることができたので、ぜひこのチャンスを逃さずに挑戦してもらいたいです！



■感謝のこたば

この度はプログラムに参加させていただき、本当にありがとうございました。きっと大学を通してでしか経験できなかったことや、自分の知らなかった新たな自分を発見できて、とてもいい機会になりました。これからは自分が得意分野であると今回感じる事ができた能力を伸ばしつつ、悩んでいる暇があったら新しいことにも挑戦し続けたいです！

